



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 新電元工業株式会社
 コード番号 6844 URL <https://www.shindengen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 吉憲
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 企画部長 (氏名) 松本 義明 TEL 03-3279-4431
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,078	△15.0	△434	—	△602	—	△733	—
2020年3月期第1四半期	22,445	△3.4	703	△59.5	802	△58.4	727	△45.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,661百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 678百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△71.19	—
2020年3月期第1四半期	70.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	133,438	50,905	38.1
2020年3月期	121,560	53,211	43.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 50,905百万円 2020年3月期 53,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※配当予想の修正については、本日付で公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	34,000	△25.2	△2,800	—	△2,900	—	△3,000	—	△291.21
通期	75,000	△19.3	△4,000	—	△4,000	—	△5,200	—	△504.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※連結業績予想の修正については、本日付で公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	10,338,884株	2020年3月期	10,338,884株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	37,170株	2020年3月期	37,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	10,301,731株	2020年3月期1Q	10,299,424株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、外出自粛により企業活動が制限を受けたことなどで、経済が停滞し雇用環境が悪化するなど、景気が減速しました。また海外においても感染拡大を防ぐためのロックダウンなどで活動制限が広がり、世界的に先行きが不透明で予断を許さない状況となりました。

当社グループを取り巻く環境は、モビリティ分野を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、厳しい状況となりました。

当社は第15次中期経営計画で掲げる「持続的成長に向けた製品戦略の加速」の方針に沿って事業を展開しております。2021年度までの3ヶ年にとどまらずさらに先を見据え、次世代低損失パワー半導体の開発を推進させるため、β型酸化ガリウムの開発を行う株式会社ノベルクリスタルテクノロジーに出資するなど、中長期的な成長に向けた取組みも進めております。

このようななか、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,078百万円（前年同期比15.0%減）、営業損失は434百万円（前年同期は703百万円の利益）、経常損失は602百万円（前年同期は802百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は733百万円（前年同期は727百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

(デバイス事業)

デバイス事業の売上高は6,774百万円（前年同期比12.8%減）、営業損失は28百万円（前年同期は163百万円の利益）となりました。

自動車市場は新型コロナウイルス感染拡大に伴う生産調整の影響を受けたほか、家電市場も低調に推移した結果、減収となりました。損益面においては、費用削減に努めたものの、減収の影響が大きく、減益となりました。

(電装事業)

電装事業の売上高は10,600百万円（前年同期比18.3%減）、営業利益は405百万円（前年同期比75.4%減）となりました。

二輪向け製品は、インドではロックダウンにより製造子会社の操業停止を余儀なくされ大きく低迷しました。また、インドネシアをはじめとするアセアンにおいては新型コロナウイルス感染症の影響が出始めたことなどで軟調に推移しました。くわえて、四輪向け製品は生産調整の影響を受け低調に推移したことで、事業全体で減収となりました。損益面においては、減収および操業停止の影響などで減益となりました。

(その他)

その他の売上高は1,703百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は36百万円（前年同期は183百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は133,438百万円（前期末比11,878百万円増）となりました。これは、主に現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

また、負債は82,532百万円（前期末比14,184百万円増）となりました。これは、主に短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は50,905百万円（前期末比2,306百万円減）となり、自己資本比率は38.1%となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は4,941円49銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月28日に公表した「2020年3月期 決算短信」において未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報を元に算出いたしました。詳細につきましては、本日付けで公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

国際会計基準（IFRS）の適用については、同基準の理解・習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、それらの内容を踏まえつつ、国内外の諸情勢を考慮の上、適用の可能性や時期等を検討してまいります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,337	40,872
受取手形及び売掛金	18,957	15,128
商品及び製品	7,638	9,393
仕掛品	4,559	5,280
原材料及び貯蔵品	11,184	12,098
その他	4,836	2,734
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	73,494	85,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,045	7,709
機械装置及び運搬具（純額）	9,948	9,269
土地	5,372	5,265
リース資産（純額）	1,102	1,033
建設仮勘定	5,326	5,384
その他（純額）	1,594	1,804
有形固定資産合計	31,388	30,467
無形固定資産		
ソフトウェア	819	751
リース資産	19	17
その他	449	298
無形固定資産合計	1,287	1,067
投資その他の資産		
投資有価証券	12,455	13,475
繰延税金資産	2,137	2,156
その他	843	829
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	15,388	16,413
固定資産合計	48,065	47,948
資産合計	121,560	133,438

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,094	14,028
短期借入金	4,525	22,075
1年内償還予定の社債	1,475	1,600
リース債務	336	359
未払法人税等	150	87
賞与引当金	931	—
その他	5,917	6,819
流動負債合計	29,429	44,969
固定負債		
社債	4,825	4,425
長期借入金	15,200	14,050
リース債務	873	964
繰延税金負債	777	954
退職給付に係る負債	14,781	14,777
製品保証引当金	2,276	2,206
資産除去債務	140	140
その他	44	44
固定負債合計	38,918	37,562
負債合計	68,348	82,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	7,738	7,737
利益剰余金	30,251	28,874
自己株式	△137	△137
株主資本合計	55,675	54,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,569
為替換算調整勘定	△1,759	△3,533
退職給付に係る調整累計額	△1,496	△1,428
その他の包括利益累計額合計	△2,463	△3,392
純資産合計	53,211	50,905
負債純資産合計	121,560	133,438

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	22,445	19,078
売上原価	18,604	16,522
売上総利益	3,841	2,556
販売費及び一般管理費	3,137	2,991
営業利益又は営業損失（△）	703	△434
営業外収益		
受取利息	31	23
受取配当金	130	133
持分法による投資利益	105	—
受取ロイヤリティー	19	14
その他	46	32
営業外収益合計	333	204
営業外費用		
支払利息	47	52
為替差損	157	194
持分法による投資損失	—	60
その他	29	64
営業外費用合計	234	372
経常利益又は経常損失（△）	802	△602
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	802	△681
法人税、住民税及び事業税	309	239
法人税等調整額	△234	△188
法人税等合計	75	51
四半期純利益又は四半期純損失（△） （内訳）	727	△733
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	727	△733
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	777
為替換算調整勘定	211	△1,747
退職給付に係る調整額	59	68
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	△25
その他の包括利益合計	△49	△928
四半期包括利益 （内訳）	678	△1,661
親会社株主に係る四半期包括利益	678	△1,661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、当社グループの主力であるモビリティ分野の需要が大きく落ち込んでおります。

このような中、当社グループは各種経済予測等を踏まえ、今後、当該影響が概ね2020年度末頃まで継続するものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,771	12,974	20,745	1,699	22,445	—	22,445
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,506	1	1,507	—	1,507	△1,507	—
計	9,277	12,975	22,253	1,699	23,952	△1,507	22,445
セグメント利益又は 損失(△)	163	1,651	1,814	△183	1,631	△927	703

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△927百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,774	10,600	17,375	1,703	19,078	—	19,078
セグメント間の内部売上 高又は振替高	925	0	925	—	925	△925	—
計	7,700	10,600	18,300	1,703	20,004	△925	19,078
セグメント利益又は 損失(△)	△28	405	377	36	414	△849	△434

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△849百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。